

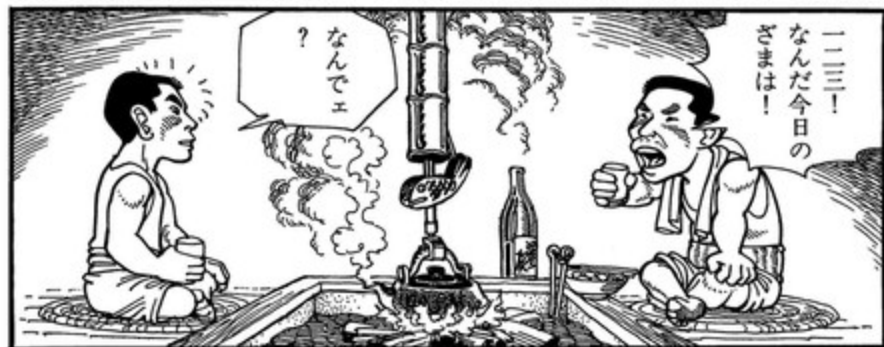




昭和二〇年
戦争が終つて
古里……

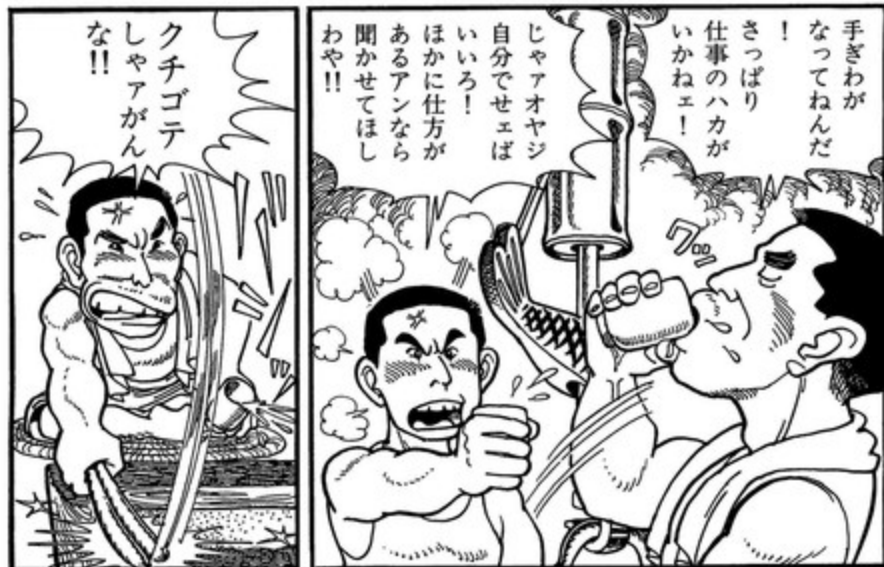
(新潟県十日町市
八箇村)にもどつ
てきた村山一二三氏
は二三才

父の仕事の
手伝いを始めた



一二三!
なんだ今日の
さまは!

なんで?



手ぎわが
なつてねんだ
!
さっぱり
仕事のハカが
いかねエ!

じゃアオヤジ
自分でせエば
いろ!
ほかに仕方が
あるアンなら
聞かせてほし
わや!!

クチゴテ
しやアがん
!!



齊木仁三郎氏通称じきさん
昭和二〇年一月入社



土木建築の
ほかに農業も
やっており
家業柄屈強な
男達がよく寝
泊りしていた

終戦までもない
頃であり……

ガッブ



物が
豊富な現代
とは訳が違う
そんな中で
父政一郎氏は
職人達のめん
どうをよくみた

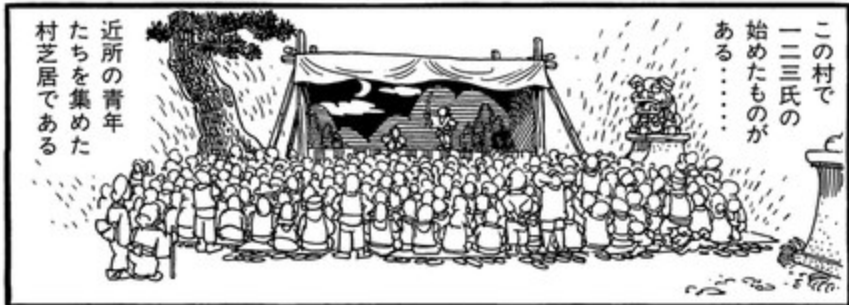


八箇村は
十日町から五キロ
ほど奥へ入った
ところにある
今では六日町とを
結ぶ国道二五三号
線になっているが
この頃はまだ
そんなものはない



この村で
一二三氏の
始めたものが
ある……

近所の青年
たちを集めた
村芝居である



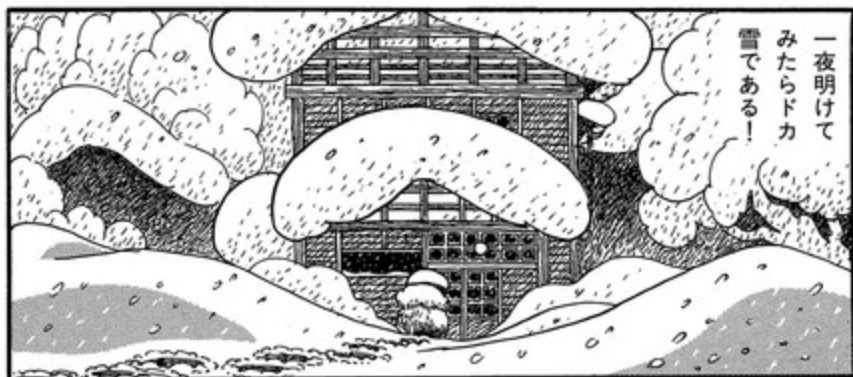


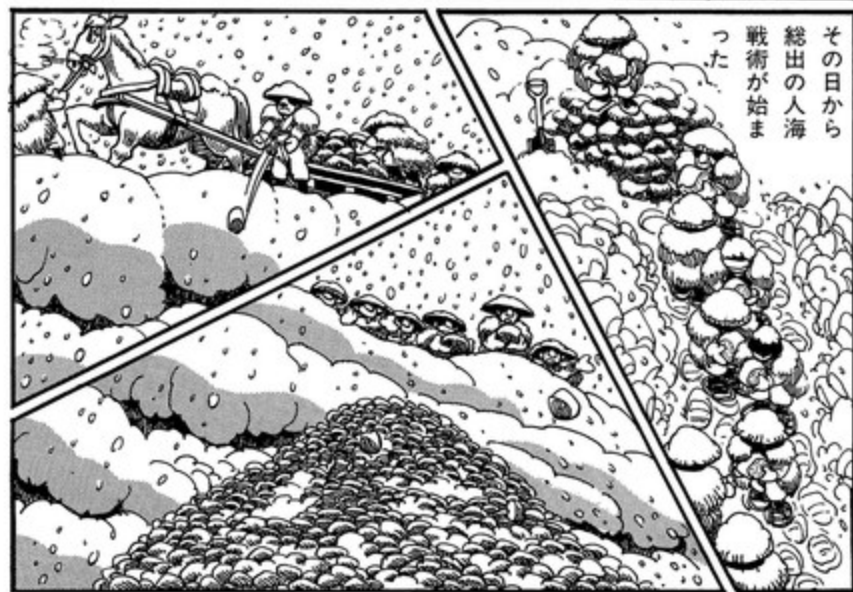


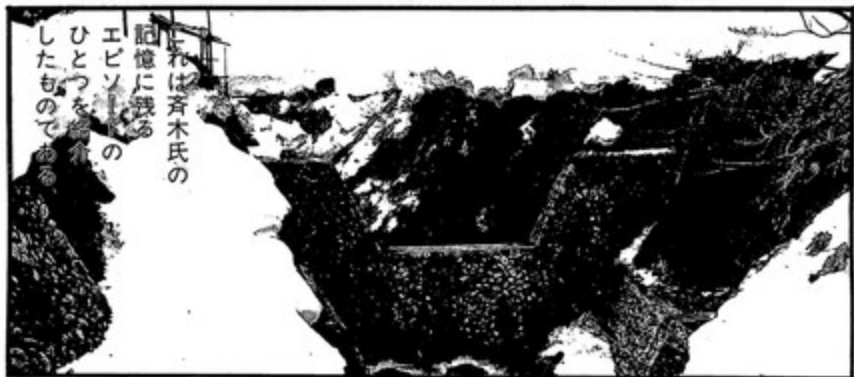














あーア!



社長
申し訳
ありません
誘導が
まずくて...
なアこれ
一台いくら
すると
思ってた
!



ケガは
寝てれば
なおると
も.....

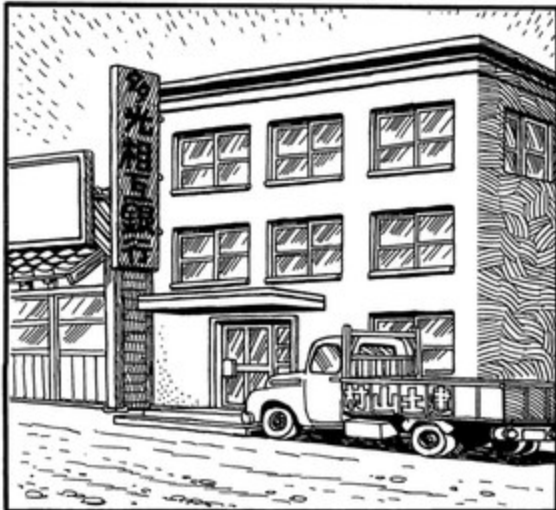


申し訳
ねエども
もう一台
心配して
もろんね
ろかね!

いやア
村山さん
それはちと
...:..
落してしま
ては下取り
もきかね
しねエ

この頃はまだ取引
銀行もない時分
で
手形も切れな
かった!

農協との
取引きはあつた
が、そんな高額
融資は無理

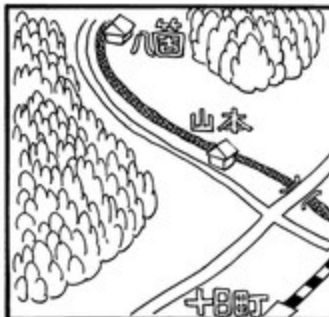




昭和三八年二月
村山土建
株式会社になる
資本金二五〇万円



昭和四〇年五月
いよいよ事業
発展のため
八箇の地から
十日町市内に
移転



四二年
社屋の
山本七
に移る



昭和四一年四月
市議会議員
三期目を半ば
にして、父、村山
政一郎氏
急逝する



社長一三氏に
とっては勿論
父ではあるが
それ以上に
.....

人生の師でも
あった



社長はよく
仕事柄花街で
飲むが

その豪放磊落
な遊行ぶりは
定評があり



先輩諸氏から
可愛いがられ
ている

こういう
ところはやはり
父ゆずりに
よるところが
大きいであらう！

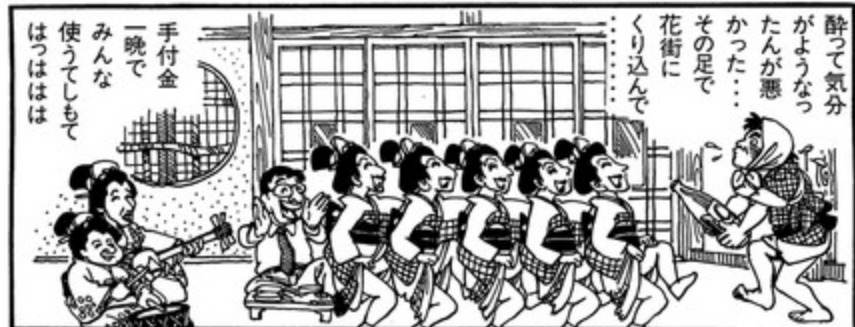


そう
いえば
こんなこと
があった
………



六トントラックを
買うため
契約の手付金を
ハラマキにねじ
込んで、新潟へ
出かけていった
ことがある





コビキさん
蟹は甲羅に
似せて穴を掘る
という……

まっオレは
オヤジほど
肝つ玉も太く
ねエし……
オレは俺の甲
羅に合う穴し
か掘れんだろう

社長
それに越した
ことはねエ
無理して
ろくなことは
ねエですよ

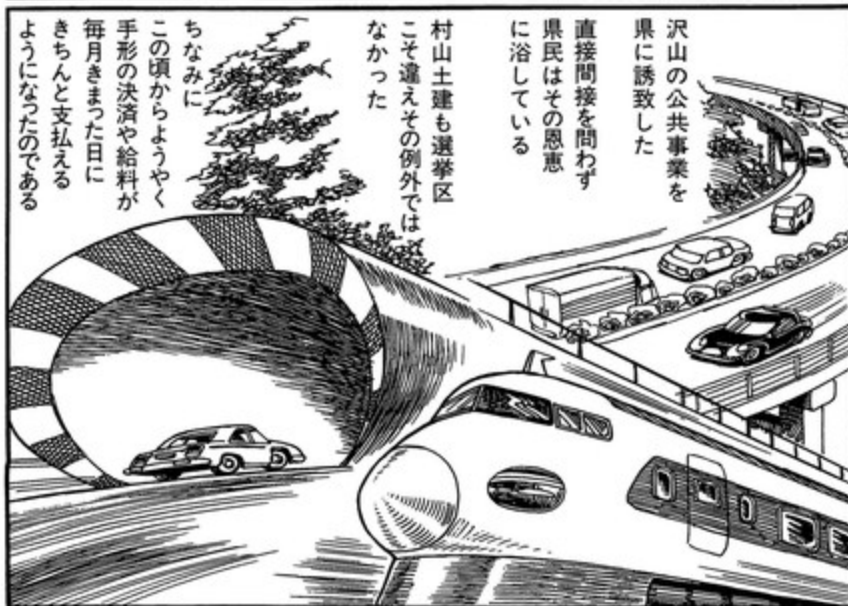
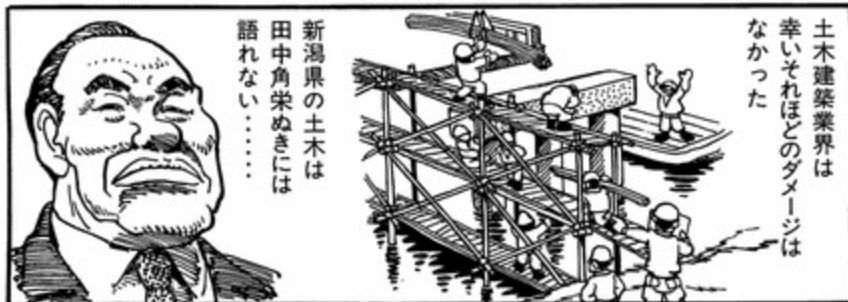


地味ながら
きちんとした
仕事をコツコツ
と積み重ね
ていった



そのおかげで
しだいに村山
土建も脚光を
あびるようにな
っていった

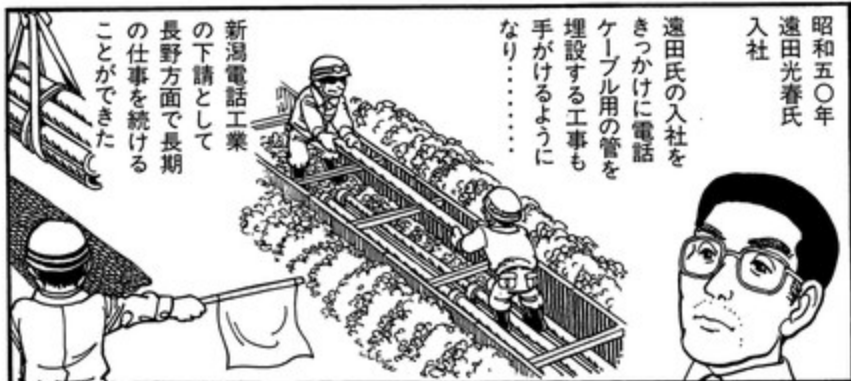




昭和五〇年
遠田光春氏
入社

遠田氏の入社を
きっかけに電話
ケーブル用の管を
埋設する工事も
手がけるように
なり……

新潟電話工業
の下請として
長野方面で長期
の仕事を続ける
ことができた



これは冬の期
の仕事になる
間を埋めるの
に役立つ

五〇年代に入ると
業務内容は格
段に飛躍した

土木中心に
電話ケーブルの
管工事……
ガソリンスタンド……



そして

昭和五三年四月
村山政文氏入社
をきっかけに
建築部門も
広がりをもみせ
はじめた

これは円通寺
舍利堂で
五六年の建築
県内唯一の
六角堂である





これは
東京の田部邸
で五九年……
鉄筋建築では
あるが柱がない
壁自体に
柱の強度を
もたせた
特殊な構造
となっている

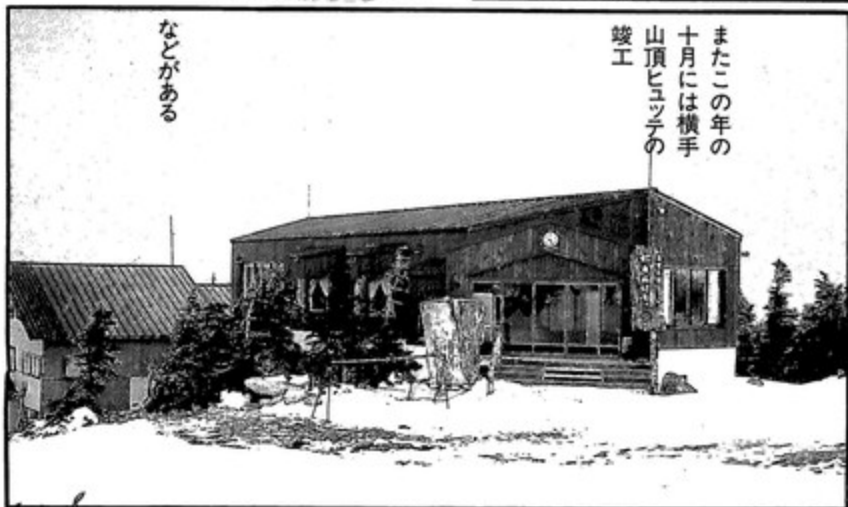


このことは
六一年二月
二日号の
週刊ポスト誌
に取り上げら
れ詳解されて
いる



またこの年の
十月には横手
山頂ヒュッテの
竣工

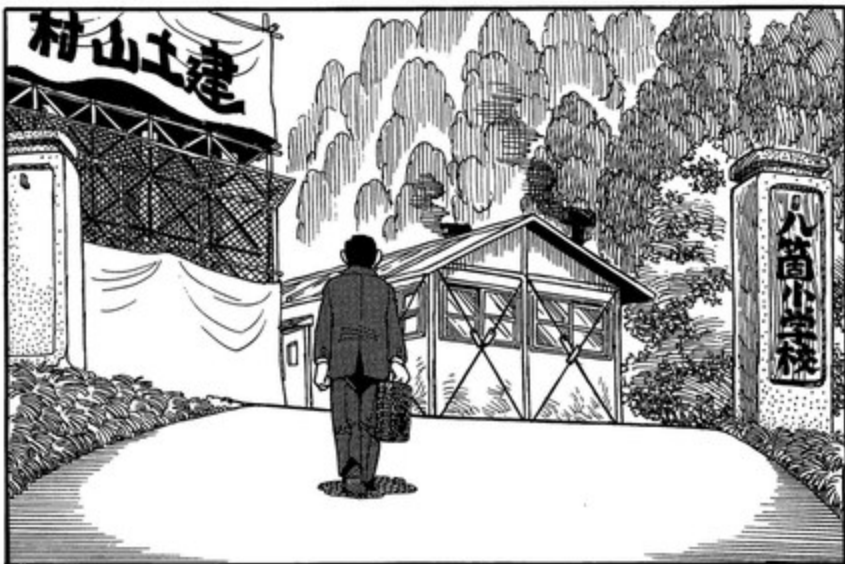
などがある





また
同年の上新井(下)
護岸災害復旧
工事は建設省
北陸地方建設局の
優良工事として
表彰されている

昭和六二年
一二月





オヤジの
政一郎が
昭和七年に
……

三二年には
オヤジとワタシで
体育館の
建てかえを
やらせていた
だった



ははア
そして今
また校舎の
建てかえを
村山さんに
やっていただ
いておるわけ
ですなア



なるほど
ただならぬ
因縁ですね

ワタシは
オヤジの苦勞
で上の学校
まで出させて
もらいました



社会に出て
からも

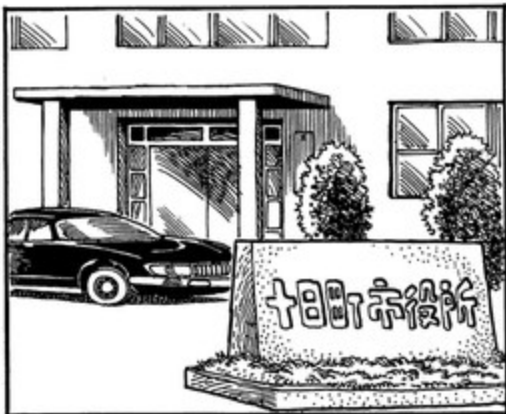
勉強するに
日曜日はない。

という気持は
今だに忘れて
おりません

そうやって
この道ひと筋
にがんばって
きました

おかげで
今こうにか
こうにか会社と
してやっていける
までになったと
いう次第です





その後
昭和五九年
五月から
六三年四月
まで新潟県
建設業協会
十日町支部
長を務め：

建災防
十日町分会
副分会長を
十六年間：：
新潟県宅地
建物取引業
協会十日町支
部長を現在も
続けている



業界の要職も
歴任して
長いこと務め
てきたけれども
.....

平成二年
創業四五周
年を期に
若手に道を
ゆずりたいと
思う！



第一線は退いて
もやりたい事は
沢山あるし
まだまだ若い
者には負けて
いられない！

ワシは一生
現役である
！

そうです
社長
ワガ社の
独自の道を
行きましょう
！



